

ポートフォリオ/専門技術キックオフ

ガイダンスの流れ

【前半（約50分）】

- ポートフォリオキックオフ
 - PF制作フェーズ全体のガイダンスを実施
- ～ 5 分間の出欠確認回答および小休憩～

【後半（約20分）】

- 専門技術ガイダンス※専門技術コースの方のみ
 - 4ヶ月目の学習に関わるガイダンスを実施

はじめに

いよいよPFフェーズへ突入します！
より一層気を引き締めていきましょう！

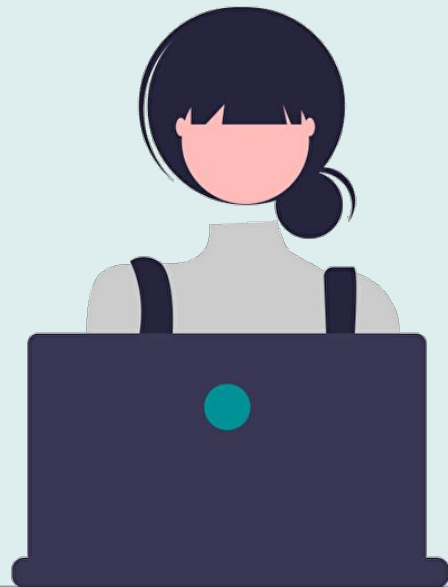


本日の流れ

1	ポートフォリオ制作とは	<u>P.5</u>	8	進捗報告について	<u>P.45</u>
2	スケジュール	<u>P.9</u>	9	各発表会について	<u>P.48</u>
3	PFテーマについて	<u>P.12</u>	10	企業はPFの どこを見るのか	<u>P.51</u>
4	実装機能リストについて	<u>P.19</u>	11	学習レポート	<u>P.57</u>
5	WBSについて	<u>P.25</u>	12	デイリースクラム	<u>P.60</u>
6	メンターへの質問	<u>P.28</u>	13	おわりに	<u>P.62</u>
7	諸注意	<u>P.40</u>			

1

ポートフォリオ制作とは



1_1 ポートフォリオ制作とは

これまで身につけたスキルを展開し、発展させることで
企業に自身のスキルをアピールすること

NG

- 期日を意識しない
- アピールできない物を作る
- 分からないまま進める

OK

- 期日までに完成させる
- 正しいコードを書く
- 技術を理解して扱う

構想、設計、実装、デプロイ まで全て自身で取り組みます！

1_2 ポートフォリオ制作で意識すること

自身のスキルをアピールするために
すべきことを意識して取り組みましょう！

スタンス

まずは自分で手を動かし、
チャレンジしましょう！
PF作成する期間ですが、
同時にプログラミングを
学習する期間です。

期日

どれだけチャレンジしても
完成させなければ
評価はされません！
仕事と同じく、期日までに
完成させることが大事です！

面接

なぜこのPFを制作したか
何ができるサイトか
など、企業から質問
されるような内容を
意識して制作しましょう！

1_3 ポートフォリオ制作の主な流れ

1	ポートフォリオのテーマを決める	5h
2	スケジュール作成	2h
3	作成する機能や画面のラフ案	6h
4	利用する技術の選定、調査	6h
5	データベース設計、画面設計、アプリケーション設計	12h
6	開発環境でのコーディング	96h
7	本番環境にデプロイ（サーバ構築、ドメイン取得など）	18h
8	テスト・バグ修正	26h

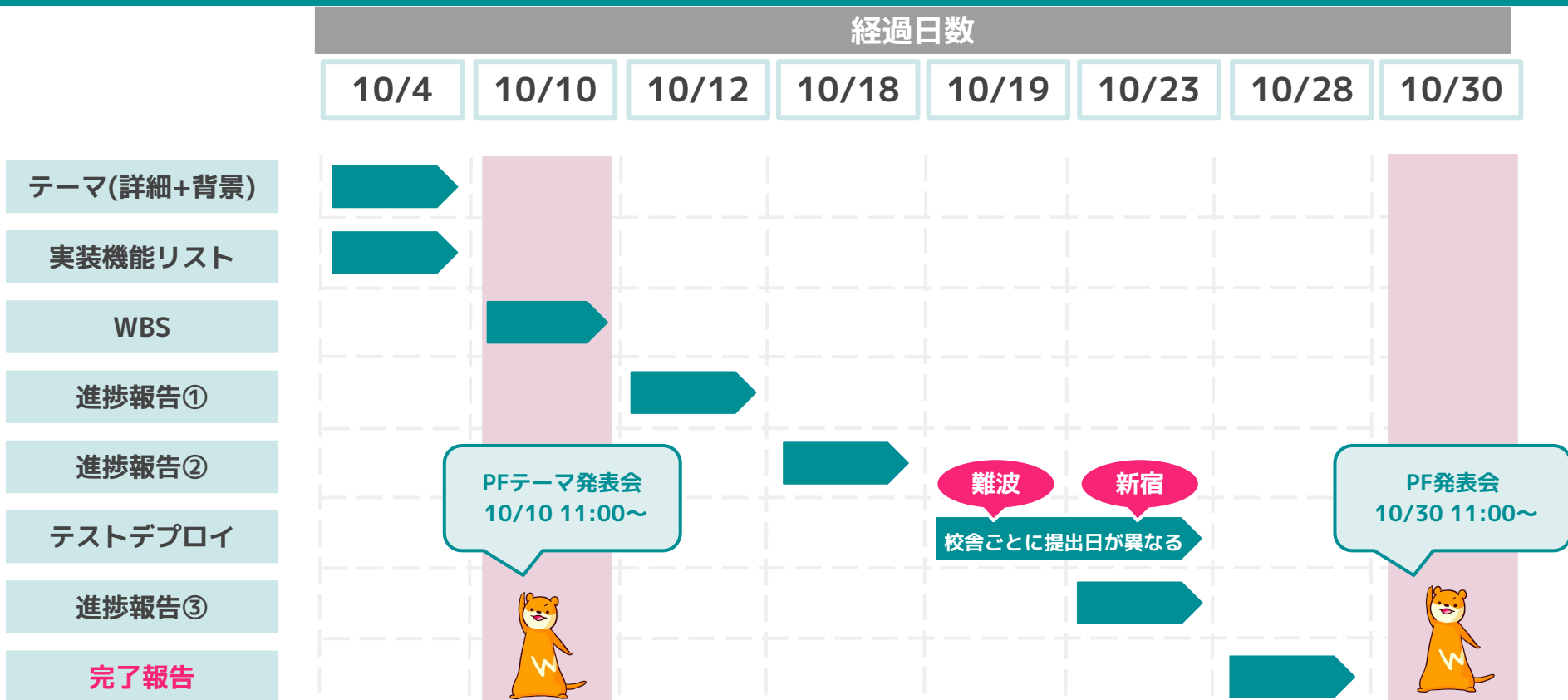
遅れそうな場合には、優先度として低そうな機能や画面を
削減する・簡素化することを検討しましょう！

2

スケジュール



2_1 スケジュールと提出物



2_2 スケジュールと提出物

各提出物ごとにレビューの有無などが異なります。必ずご確認ください！

	レビュー	注意点
テーマ(詳細+背景)	有り	公序良俗に反しないもの
実装機能リスト	有り	公序良俗に反しないもの
WBS	テーマ発表会にて添削	設計後に提出
進捗報告①	提出のみ	-
進捗報告②	提出のみ	-
テストデプロイ	提出のみ	-
進捗報告③	提出のみ	-
完了報告	提出のみ	必ずポートフォリオURLを提出しましょう

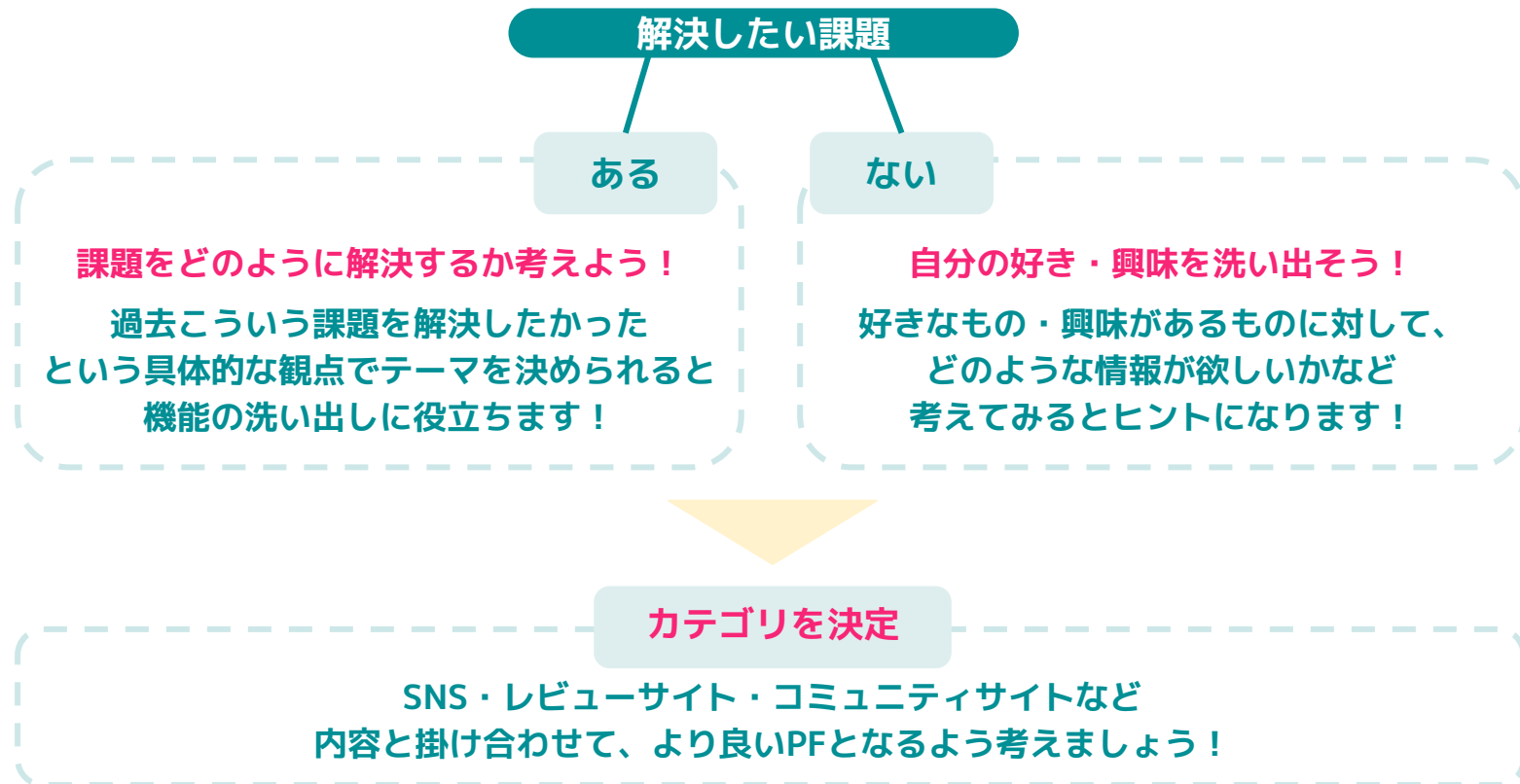
※ 提出後、PFの稼働チェックを行います。

3

PFテーマについて



3_1 テーマの決め方について



※内容の詳細はカリキュラムをご確認ください。

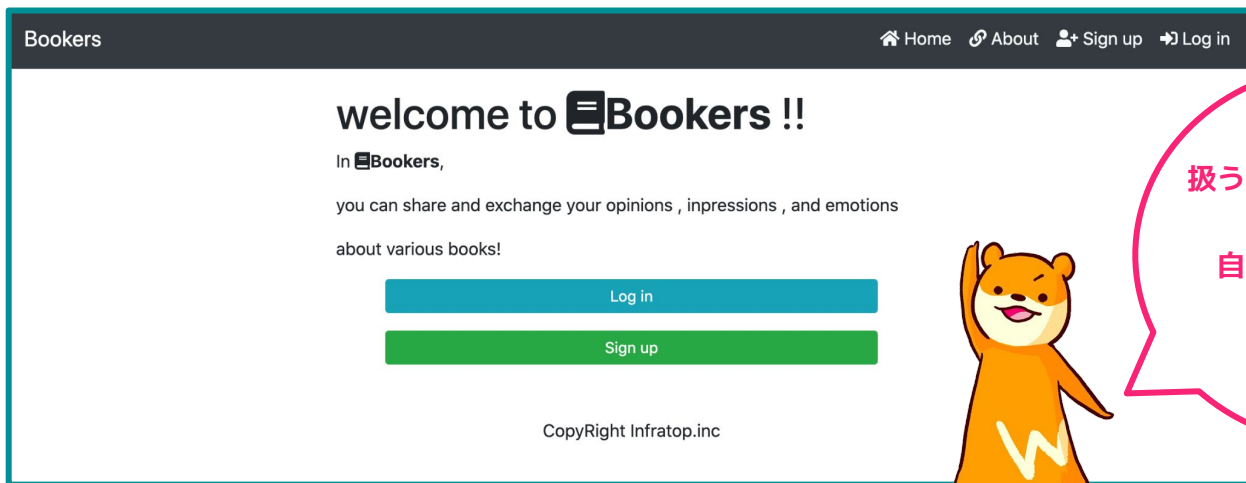
PFテーマについて

～応用課題が十分に進められず技術に不安がある方向け～

3_2 PFテーマ（技術に不安な方向け）

■ 推奨テーマ

SNSサービスの基本機能を持つBookers2をベースとして実装し、
サービス内容の変更・機能追加などを行う



扱うテーマは何にする？
写真？料理？
自分の経験などから
活かせるものを
考えてみよう！

3_3 実装する機能例

■ 実装する機能について

着実に完了させるために、下記の順序を推奨しています！

Step1

- ユーザ機能
- コメント機能
- いいね機能
- デプロイ

Bookers2相当基本機能

Step2

- Rspec
- Rubocop
- JavaScript (jQuery)
- 開発スキルアップの機能

発展機能

カリキュラムから学習可能な機能を組み合わせて実装しましょう！

PFテーマについて

～応用課題6まで完了or 課題3を理解している人向け～

3_4 実装する機能例

■ 実装する機能について

着実に完了させるために、下記の順序を推奨しています！

Step1

- ユーザ機能
- コメント機能 (非同期通信)
- いいね機能 (非同期通信)
- ランキング機能
- 検索機能
- デプロイ

Bookers2相当基本機能

Step2

- Rspec
- Rubocop
- JavaScript (jQuery)
- 開発スキルアップの機能

発展機能

リーダブルコードを意識して取り組みましょう！

4

実装機能リストについて



4_1 実装機能リストとは？

ポートフォリオで実装する機能のリスト！

2つの役割

機能の洗い出し

- 実装に使用する機能は何か
- 必要な機能の抜け漏れはないか

工程管理

- 工数はどの程度かかるか確認
- リストによるコードチェック
- 本番環境でバグがないかの管理

ポートフォリオ制作を通して使用していくシートとなりますので
使い方を理解しておきましょう！

※シートのリンクはカリキュラムをご確認ください。

4_2 テーマ提出前チェックリストの内容

6		工数		機能数	
		想定学習工数	8日	必須or任意項目数(DWC提示)	10
		想定実装工数	8日	自分で追加した項目数	0
		想定テスト工数	9日	合計	10
		デブロイ工数	3日		
		合計	28日		

2		4		5	
機能名	実装理由	実装内容・優先度メモ	方法の 立っている	テスト実施方法	実装完了工数 (日数)
○ アストログイン	会員登録前には試すに使えるようにし、登録のハードルを下げるため		<input checked="" type="checkbox"/>	テスト仕様書	0.5
○ 会員機能	投稿がどの会員によるものか明らかにするため・タイムライン、フォロー・フォロー機能など、会員ごとにカスタマイズされた情報を表示するため		<input checked="" type="checkbox"/>	テスト仕様書・RSpec	0.5
○ 投稿機能	会員が発信したい内容を発信できるようにするため		<input checked="" type="checkbox"/>	テスト仕様書	0.5
○ (投稿検索機能) (キーワード検索)	気になっているトピックに関する投稿をチェックできるようにするため		<input checked="" type="checkbox"/>	テスト仕様書	0.5
○ ユーザー管理機能 (管理者)	・会員の一覧や登録内容を確認するため ・不正な手段で登録した会員や、不適切な投稿を行う会員の利用停止を行うため		<input checked="" type="checkbox"/>	テスト仕様書	0.5
○ いいね(ブックマーク)機能	気に入った投稿や留めておきたい投稿に対してリアクションするため		<input checked="" type="checkbox"/>	テスト仕様書	0.5
○ いいね(ブックマーク)一覧表示機能	いいね(ブックマーク)した投稿を好きな時に閲覧するため		<input checked="" type="checkbox"/>	テスト仕様書	0.5
○ フォロー機能	知り合いや気になる投稿をしている人をフォローし、自分が見たい情報を得るため		<input checked="" type="checkbox"/>	テスト仕様書	0.5
○ コメント機能	気に入った投稿に対してリアクションし、コミュニケーションを活発化させるため		<input checked="" type="checkbox"/>	テスト仕様書	1
○ ユーザー検索機能	知り合いを検索し、フォローできるようにするため		<input type="checkbox"/>	テスト仕様書	2.5
○ 他人の投稿を自分のタイムラインで共有			<input type="checkbox"/>	テスト仕様書	2.5
○ ユーザーの公開・非公開設定機能			<input type="checkbox"/>	テスト仕様書	1.5
○ 通知機能			<input type="checkbox"/>	テスト仕様書	4.5
-			<input type="checkbox"/>	-	0
-			<input type="checkbox"/>	-	0

1	カテゴリ: SNS ▼	カテゴリ: コミュニティサイト ▼	カテゴリ: レビューサイト ▼	カテゴリ: その他 ▼	機能カテゴリ ▼
----------	-------------	-------------------	-----------------	-------------	----------

1. テーマに合わせて**カテゴリ**を選択する
2. カテゴリごとの**必須機能**を確認する
3. **必須機能**とは別に、追加したい機能をリストに追加する
4. リストアップした機能に対して、**実装方法の目処**が立っているか確認する
5. 各機能の**テスト実施方法**を決める
6. **工数**を確認し、必要に応じて**実装機能数**を調整する

※内容の詳細はカリキュラムをご確認ください。

4_3 「実装方法の目処が立っている」状態とは？

実装するために必要な構成が
以下のうち3つ以上想定できている状態！

モデル	<ul style="list-style-type: none">データベース設計必要なメソッド	ルーティング	<ul style="list-style-type: none">詳細設計resources, namespaceなどの書き方
ビュー	<ul style="list-style-type: none">フォームの表示一覧・詳細の表示	Gem	<ul style="list-style-type: none">導入使用方法
コントローラ	<ul style="list-style-type: none">必要なインスタンス変数メソッドストロングパラメータ		

4_4 実装方法の目処_チェック方法

問題なければシートのチェックを入れてください！

	実装方法の 目処が立っている	テスト実施方法	実装完了工数 (日数)
する 情報など、 示するため	<input type="checkbox"/>	テスト仕様書	1.5
に するため	<input type="checkbox"/>	テスト仕様書	1.5
チェックで		テスト仕様書	

	実装方法の 目処が立っている	テスト実施方法	実装完了工数 (日数)
する ため 情報など、 示すため	<input checked="" type="checkbox"/>	テスト仕様書	0.5
に するため	<input type="checkbox"/>	テスト仕様書	1.5
チェックで	<input type="checkbox"/>	テスト仕様書	2.5



チェックを入れることで
工数が減少するよ！
全体の工程管理に
関わるから
忘れずに実施しよう！

4_5 工数を確認しよう

規定の日数を超えていないか確認します！

工数	
想定学習工数	9日
想定実装工数	8日
想定テスト工数	9日
デプロイ工数	3日
合計	29日

開発に必要な
想定時間が計算
されています。

工数見直しの手順

1 テスト実施方法の見直し

→ RSpecを使用する前提となっている部分を、テスト仕様書のみにする。

2 機能リストの見直し

→ 必須機能以外の機能を削減するなど、実装する量を見直す。

→ この時、**必須機能を削減するのは原則NG**

※ 止むを得ない理由で削除したい必須機能がある場合は一度運営部にご相談ください。

5

WBSについて



5_1 WBS提出前の注意点

WBS提出日までにカリキュラム
「AWSを学ぼう」「デプロイを学ぼう」の学習を行いましょう。



学習していない状態で実装期間に入ってしまうと、
WBS通りに進まず制作に遅れが生じる恐れがあります。
既に学習をされている方も、必ず予習・復習をお願いいたします。

※ 実際にデプロイする必要はありません。
事前に目を通しておくことでスケジュール感を把握しておきましょう。

5_2 WBS提出時の注意点

カリキュラムでのWBSセルフチェックを
確実に実施してください。

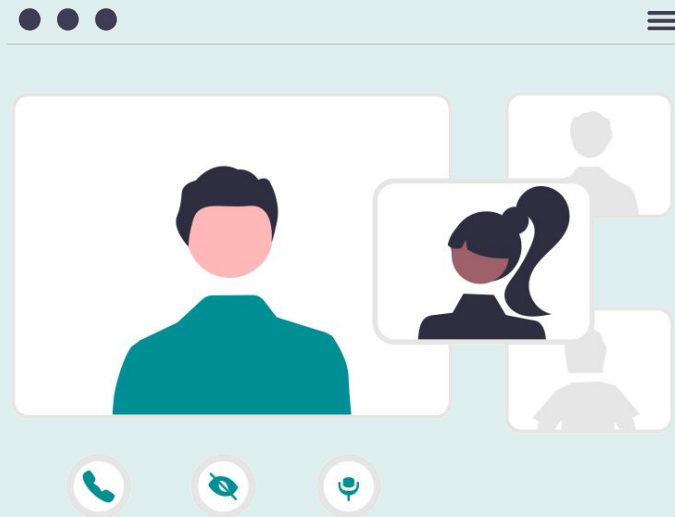
- ・ ☐ ファイル名が「アプリケーション名_WBS」となっている
- ・ ☐ 「プロジェクト概要」が書かれている
- ・ ☐ 「ポートフォリオテーマ」が書かれている
- ・ ☐ 実装期間は、「実装機能リスト」に書かれた日数になっている
- ・ ☐ 実装後に、テスト仕様書の作成が1日設けられている
- ・ ☐ テストは「テスト仕様書の作成」「テスト仕様書のチェック実施」「バグ・不具合修正」の3項目に分かれている
- ・ ☐ テストが2-3日設けられている
- ・ ☐ デプロイは「AWS設定、nginx, puma設定、アプリケーション修正」の3項目に分かれている
- ・ ☐ デプロイが3日以上設けられている
- ・ ☐ WBSの体裁が整っている(日付が合っているか、誤字脱字がないか)
- ・ ☐ 無理のない範囲の日程となっている
- ・ ☐ タスクの確認(機能とレイアウトでタスクが分けられている)

閲覧権限の設定が正しく行われていない場合

再提出となりますのでご注意ください。

6

メンターへの質問



メンターへの質問について

質問時間

- 19:00～22:00(月～木)
- 13:00～22:00(土～日)

金曜日は休校日のため質問不可、最終受付は21:30までとなります。

対応場所

Zoom

質問範囲

カリキュラム > ポートフォリオ制作ガイドライン
> PF制作における諸注意 をご確認ください。

メンターへの質問 > 質問対応範囲の早見表にスライドにて

ご説明しております。1～2ヶ月相当の質問は質問したい状態により

対応時間が異なりますので、ご注意ください。

※ 応用課題ポートフォリオ応用編～開発スキルアップは質問不可となります。

今後の学習について

いよいよ、**高い実装レベル**や、**複雑なエラー**が増えていく、PF制作フェーズに突入します。

フェーズ/項目	基礎知識学習 (Webアプリ)	応用課題 (集中学習期間)	チーム開発 (ECサイト)	PF制作 (オリジナルPF)
実装レベル	低い	やや低い	やや高い	高い
エラーの難易度	易しい	やや易しい	やや複雑	かなり複雑

再掲: レベルの高い実装や複雑なエラー解決に必要な力

■ 調べるスキル

発生している問題の**原因を調査**、適切な**解決策を検索**し、
検索した内容を**自分の課題に落とし込み**、課題を解決するスキル。

調べるスキルが身についていると...

- 実装のレベルが高くても
 - 作りたい機能に必要な情報を**自分で検索し、実装できる！**
- 複雑なエラーが同時に起きても
 - 正しく**原因を突き止める**ことができる！

特にポートフォリオ制作フェーズでは調べるスキルが大切

設計

実装

デプロイ

すべて自分で作るので...

自分のポートフォリオについてを一番詳しいのは
自分自身です！

メンターに質問するときにもどこまで調べていて
何がわかっていないかを明確に伝える必要があります

ポートフォリオ制作フェーズの調べるスキルの目標

「調べるスキル」も仕上げ段階に突入します！

必要な資料をもとに**自身で問題解消ができる状態**が目標です！

- STEP1 **基礎知識**が身に付いている
- STEP2 **正しい調べ方**がわかり、必要な資料にたどり着ける
- STEP3 調べた内容を元に、自身で問題の解消ができる

習得済

習得済

習得目標

これに伴い、予約制度もアップデートします！

予約制度では引き続き
「正しい記事へのたどり着き方が分からない」
方をサポートします！

調べるスキル ★★★

今までの
予約なし質問



新制度「予約あり質問」

調べるスキル：★★☆

Standard予約コース

「調べてみたけど
良い記事が見つからない」
(目安30分)

オススメ

調べるスキル：★☆☆

Basic予約コース

「何をすべきか分からない」
から解説してほしい」
(目安60分)

質問コースごとの具体例

Standard予約

オススメ

タイトル：

【予約あり】

削除機能の追加

内容：

index.htmlへ削除機能を追加するためのコードを書いてみましたが
NoMethod Errorになりました。グーグルで「削除機能 追加」などで検索していましたがわかりません。

✓ 発生した問題が
明確である

✓ 調べてみたが
正しい記事に
辿り着かない

推奨調べるスキル：★★☆

Basic予約

タイトル：

【予約あり】応用課題

4

内容：

user モデルでの定義がよくわかっていないので、
一から解説してほしいです。

✓ 発生した問題が
曖昧である

✓ 一から解説を
して欲しい

推奨調べるスキル★☆☆

質問コースごとの具体例

予約なし質問

タイトル：

【予約なし】退会機能について
内容：

顧客のeditページの最後に[id]のエラーが出る。rails routesで検索したらidは取れてました。そこで以下の記事を参考にしました。

<https://qiita.com/jnchito/items/3525fd22973477b88411>

参照した記事によれば、`add_index`でカラム名を追加するようですが、あってますでしょうか？

調べるスキル：★★★

Point1



発生している問題が明確である

Point2



参考にした資料が明確である

Point3



資料が正しい前提で、
質問したいことが明確である

ポートフォリオ制作フェーズの予約制度開始日について



来月1日より、予約可能となります。

※キックオフ後に予約可能URLをお送りしますので、ご確認ください！

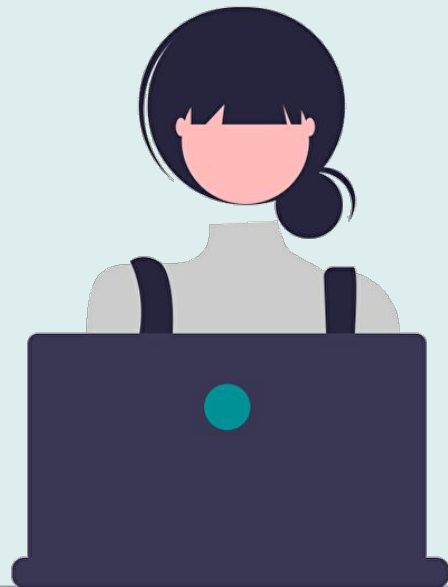
まとめ

- ポートフォリオ制作フェーズで、調べるスキルを仕上げていきましょう！
- 到達目標は、必要な資料をもとに自身で問題解決ができる状態です！
- 正しい記事へ辿り着く事が不安な人は来月1日から予約制度で調べ方を学びましょう！

調べるスキルを仕上げることで、
レベルの高い実装や難易度の高いエラー解決を行い、
納得のいくポートフォリオを制作してきましょう！！

7

諸注意



7_1 学習時間・打刻について

180時間以上の学習を目指しましょう！

	理想	最低
	1日 7-8時間	1日 6-7時間
3ヶ月目	190時間	165時間

学習進捗は学習時間に比例します！
また、企業様に学習時間を伝えることもありますので
毎日忘れずに打刻を行ってください。

7_2 学習中にcommitするタイミングについて

- **作業を中断するタイミングで必ずcommitしましょう**
 - 続けて作業する場合、以下のタイミングで必ずcommitしましょう
 - **課題以外の章**
 - 各章の学習が完了したタイミング
 - **課題の章**
 - 課題の学習を始めたときの最初の変更タイミング
 - 課題の学習が完了したタイミング

Gitにcommitしておくことで、AWS上のデータが飛んでしまった場合にもデータ復元が可能です。

作業を中断するタイミング、休憩するタイミングなどこまめにcommitを行いましょう！

7_3 外部リンク・画像などの使用について

外部の情報やリソースの利用する場合、カリキュラムのガイドラインを参考に
自身の責任のもと、利用するようお願いいたします。

画像の取扱い

利用が許可される場合

著作権フリー画像や著作権者の利用許諾を得られた場合

著作権フリー画像のサイトポリシーや著作権者の利用条件に沿った形式であること

出典を明記すること

ご自身で撮影、若しくは作成された画像であること

利用が許可されない場合

Web上にアップロードされている他人の画像を無断でダウンロードし、再公開（サーバーアップロード）すること

リンクの取扱い

リンク先サイトのポリシーに従い、利用可否を判断した上で利用

リンクを掲載する行為自体が、著作権法その他法令に違反することは原則ありません。

リンク先サイトのポリシーを確認し適切に利用してください。

画像の取扱い(直リンクを利用する場合)

リンク先サイトのポリシーに従い、利用可否を判断した上で利用

出典を明記すること

リンク同様、画像の直リンク自体が法令違反となることは原則ありませんが、リンク先サイトのポリシーを確認し適切に利用してください。

APIの取扱い

API連携の際は、APIの公開元のポリシーに従い利用可否を判断した上で利用



ガイドラインは
必ず確認し、
それでも不明な場合は
メンターに
質問しよう！

※ カリキュラム > ポートフォリオ制作ガイドライン > PF制作における諸注意 > 外部リンク・画像などの使用について をご確認ください。

7_4 修了証発行条件について

▶ 【重要】修了証発行条件

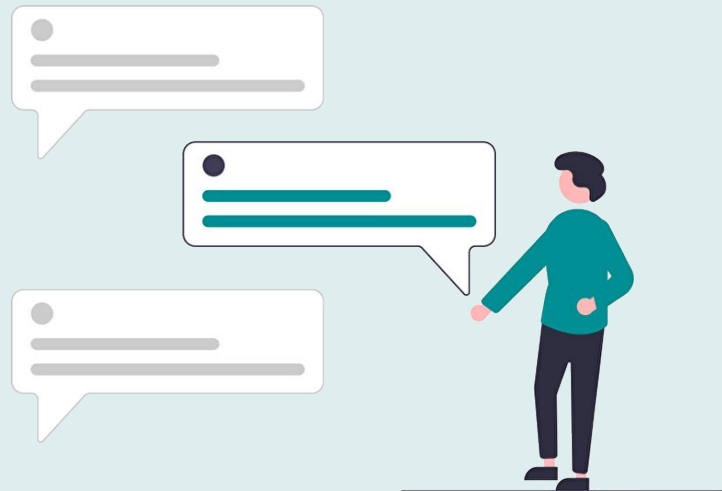
※学習フェーズⅢの学習期間にて、下記の条件を満たす必要があります。

- 学習フェーズⅢ

- PF完成することで3ヵ月目の課程を修了とする
PFの完成とはデプロイが終了し、PFが動作していることを指す
※デプロイの際は必ずAWSを利用すること

8

進捗報告について



8_1 進捗報告

全3回、進捗報告の提出が必要になります。
進捗報告を元にサポートさせていただきますので、
必ず期日までに提出してください。



進捗が遅れている場合も提出するの？

進捗に関わらず必ず提出してください！
報連相は開発現場で働く上で、必ず求められます。
実務を意識して取り組みましょう！

課題名
ポートフォリオ：進捗報告(1回目)

受講生ID
[Redacted]

氏名
[Redacted]

説明
【対象カリキュラム】
COMMIT ポートフォリオ制作フェーズver3.0

【課題内容】
進捗報告(1回目)

WBS **必須**
WBSとして使用している、Googleスプレッドシートの共有URLを提出してください。
[Redacted]

GitHubリポジトリ **必須**
ポートフォリオのソースを管理しているGitHubリポジトリのURLを提出してください。
https://github.com/ユーザー名/リポジトリ名

進捗状況 **必須**
WBSで立てたスケジュールに対する現在の進捗状況を、以下から選択してください。
☐ 遅れ
☐ 予定通り
☐ 前倒し

一週間を振り返って **必須**
この一週間うまくできたこと、できなかったことなどを記入してください。
[Redacted]

次週までの目標 **必須**
[Redacted]

提出する 戻る

8_2 進捗報告



進捗が遅れている場合はどうすればいいの？

WBSの見直しを行い

[予定通り]になるように修正をしましょう。

自分だけのスケジュールの見直しや

実装機能の差し引きが難しい場合は、

いつでもメンター・運営部にご相談ください。

納期意識を持って取り組みましょう！

課題名
ポートフォリオ：進捗報告(1回目)

受講生ID
[Redacted]

氏名
[Redacted]

説明
【対象カリキュラム】
COMMIT ポートフォリオ制作フェーズver3.0

【課題内容】
進捗報告(1回目)

WBS **必須**
WBSとして使用している、Googleスプレッドシートの共有URLを提出してください。
[Redacted]

GitHubリポジトリ **必須**
ポートフォリオのソースを管理しているGitHubリポジトリのURLを提出してください。
https://github.com/ユーザー名/リポジトリ名

進捗状況 **必須**
WBSで立てたスケジュールに対する現在の進捗状況を、以下から選択してください。
☐ 遅れ
☐ 予定通り
☐ 前倒し

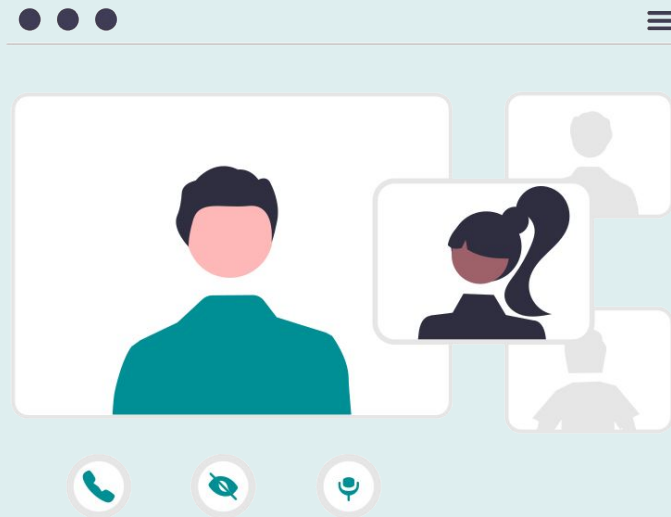
一週間を振り返って **必須**
この一週間うまくできたこと、できなかったことなどを記入してください。
[Redacted]

次週までの目標 **必須**
[Redacted]

提出する 戻る

9

各発表会について



9_1 PFテーマ発表会

- 開催予定日: 10/10(火) 11:00~12:00



PFテーマ発表会とは？

WBSの添削、受講生同士での相談や共有、
プレゼン練習を兼ねて、実施いたします。

シートを共有いたしますので、
テーマ発表までにプレゼン内容を考えておきましょう。

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1SxsOPiQWKuww5JEDckvd04Z4NFTwU66YIESjLXLi5cc/edit?usp=sharing>

※ ファイル→コピーの順で複製してください。事前準備に1時間程かかります。

9_2 PF発表会

- 開催予定日: 10/30(月) 11:00～12:30



PF発表会とは？

自身のPFをプレゼンしていただきます。

詳細は後日、月生チャンネルにてアナウンスします。



「PF_完了報告」提出締切日を納期とし、
アプリケーションの実装はもちろん、本番でしっかりと
発表できるところまで取り組みましょう！！

10

企業はPFの どこを見るのか



10_1 企業はPFのどこをみるか



ズバリ!

どんなスタンスの人？一緒に働きたいと思える人？

などの観点で見えています！

- システム利用者（エンドユーザー）を考えているか
- チームメンバーに配慮できる人か
- 今後の保守運用を考慮しているか

次のスライドから3つの対策を意識しましょう！

10_2 企業はPFのどこをみるか_対策①

Point1

エラーをなくしましょう！

システムは作って終わりではありません。稼働後が本番です。

要は、「動いてナンボ」なのがシステム開発です。

「リリース後の運用を考えられるエンジニアか？」

「エンドユーザのことを考えているエンジニアか？」を企業は見ています。

バグばかりのアプリケーションでは、その姿勢が伝わりません。

テスト期間をしっかり考慮に入れ、バグを潰しましょう！

10_3 企業はPFのどこをみるか_対策②

Point2

コメントを書きましょう！

ソースコード内のコメントは実際の挙動に影響がないため、
ついつい記述が疎かになりがちです。

しかし、コードは自分以外がメンテナンスすることも非常に多いです。
コードだけでは伝えづらい「なぜこの処理を書いたのか」という
注釈が必要になります！

「コメント 重要性」「コメント 粒度」で検索してみましょう！

10_4 企業はPFのどこをみるか_対策③

Point3

リーダブルコードを意識しましょう！

リーダブルコード＝読みやすいコード

インデントや変数・関数名の分かりやすさ、DRYであるかどうか…

どれくらい意識できているでしょうか？

コメントと同様、いかに他者に配慮したコードを書いているかを

企業は必ずチェックしています！

「リーダブルコード 要約」で必ず検索してみましょう！

10_5 企業はPFのどこをみるか_まとめ

PFテーマ

レイアウト

※ユーザビリティ

エラーの無さ

などから…

皆さんのパーソナリティなどをみています！

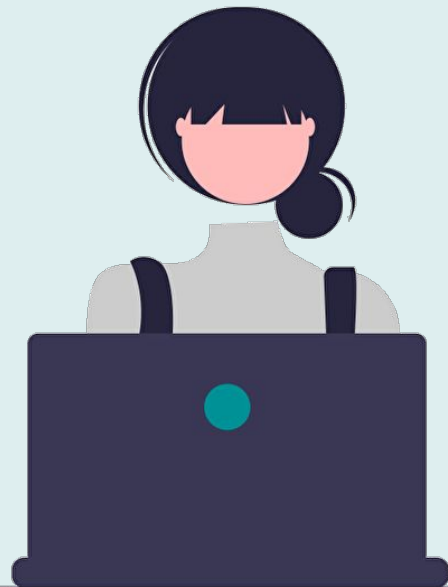
技術によりすぎて不完全な成果物になってしまうより

「誰にでも意識し取り組めば出来る点」

に重きを置く事を意識しましょう！

11

学習レポート



3ヶ月目・4ヶ月目の学習レポートの提出は任意です。

学習を振り返ることは重要ですので、
できるだけ取り組んでいただくことを推奨しています。
実務でも毎日の日報提出、振り返りは行われます。

今のうちから「毎日提出する」という行為に
慣れておきましょう！

振り返りを
しておくことで
転職活動時に
役立つかも！



11_2 学習レポート各種リンク

デイリーレポート

- 記入/提出フォーム

<https://forms.gle/Lf5u53n258jdngfV7>

ウィークリーレポート

- 記入シート

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1HQzEb3SQWDwM4QiCe3NN-KSbNEkGi4LPSBRQm2b1aVY/edit#gid=2024014038>

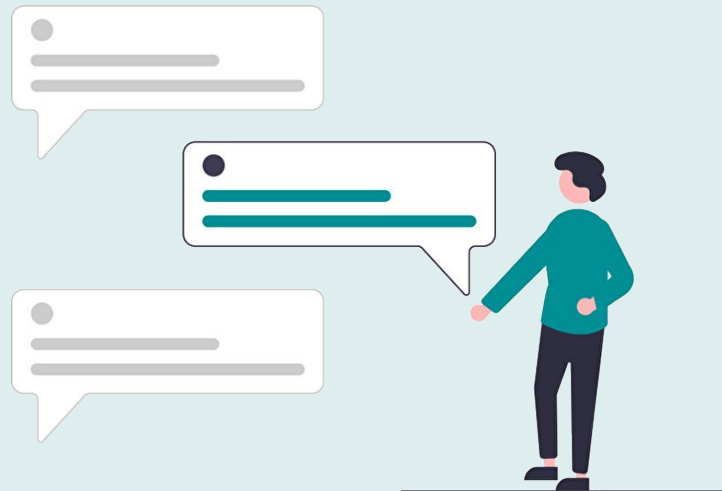
※上記リンクは雛形です。ファイル→コピーを作成の順で複製して使用してください。

- 提出フォーム

<https://forms.gle/jsqnEfZcTeBMN7kw8>

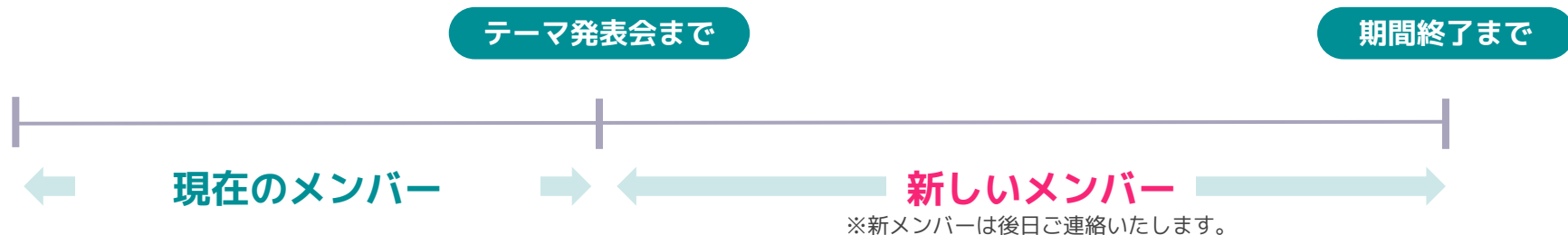
12

デイリースクラム



12_1 フェーズ3のデイリースクラムについて

デイリースクラムの実施は**必須**です。
メンバーは期間ごとに異なりますので、下記をご確認ください。



- 実施タイミング：毎日12:30～（休校日を除く）
- 所要時間：15分程度

13

おわりに



13_1 キックオフ終了後の主な流れ

1

テーマの決定

企業様へのアピールを行う上で、テーマの選定は非常に重要です！
これまで学んだ成果を活かせるよう、慎重に決定しましょう！

2

実装機能リストの作成

レビュー返却には時間がかかります。不合格の場合、
今後のスケジュールに影響を及ぼす可能性もございますので
カリキュラムをよく確認し、合格できるようにしましょう！

3

実装内容の復習

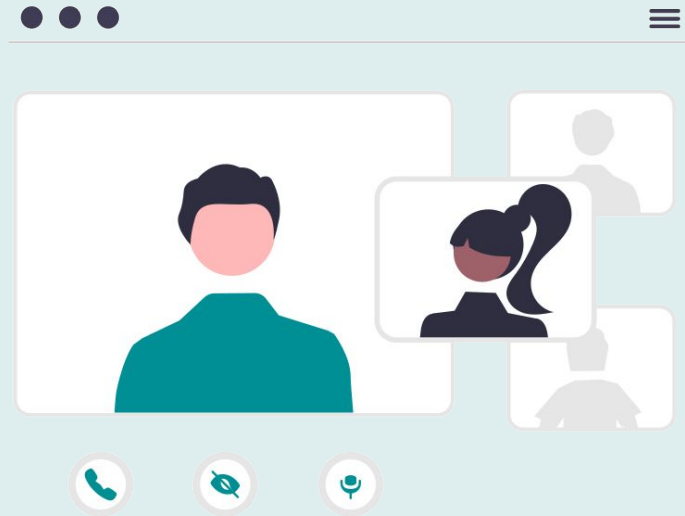
PF制作がスムーズに行えるよう
不安な部分はできるだけ早く解消しておきましょう！

詳細はカリキュラムを確認してください。テーマ合格後は、適宜WBSの作成に移りましょう！

これまでの学習の集大成！
悔いが残らないよう、全力で取り組みましょう！

Have a nice DMM WEBCAMP life!

この後の流れ



この後の流れ

只今より、チーム振り返り+PFキックオフの出欠確認及び、
小休憩に入ります。（５分間）

お時間になりましたら、「専門技術ガイダンス」を行います。

専門技術コースを受講されている方のみご参加いただけます。

座席指定はございません。

お時間までにイベントエリアへお戻りください。

4ヶ月目の学習について重要なお説明をいたしますので、
遅れることのないよう、お願い申し上げます。

専門技術コースガイダンス

ガイダンスの流れ

1

学習のゴール

P.71

2

学習の流れ

P.79

3

課題提出

P.83

4

スキル評価

P.88

5

修了証明書

P.92

6

学習進捗管理シート

P.95

7

デイリースクラム

P.97

はじめに

4ヶ月目の制作も視野に入れつつ、PF制作を行っていきましょう！



はじめに- 諸注意 -

このガイダンスでは、修了条件等、ゴールをしっかりと確認しましょう！

1

3ヶ月目/4ヶ月目のゴールをそれぞれ確認！

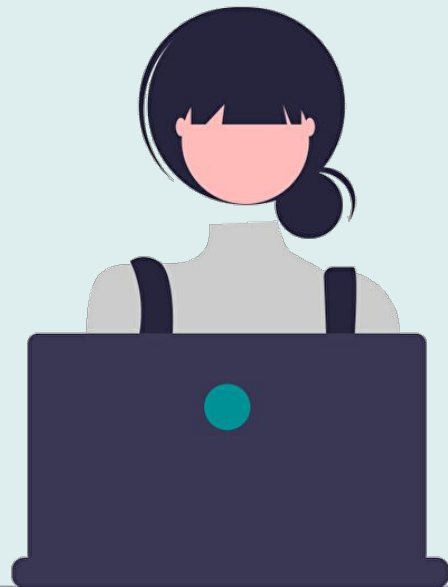
2

各課題の概要、質問範囲などを確認！

※合わせてカリキュラムも必ずご確認ください。

1

学習のゴール



フェーズ1～フェーズ3までとはゴールが異なります！

フェーズ3まで

- Railsアプリが作れるようになる
- 開発できるようになる

フェーズ4～

- AI・クラウドについて
教養として大枠を知る

教養として大枠を知ること、ソフトウェア開発に関わる
様々な役割・業務を知ることに関がります！
開発においてどのような役割・タスクが必要かを
的確に洗い出すことができる人材を目指しましょう！

学習のゴール_3ヶ月目(PF制作フェーズ)

【注意】3ヶ月目の修了条件を満たした上で、4ヶ月目の学習に進みましょう！
PF制作フェーズでは、「PF完了報告」の提出が必要です。

▶ **【重要】修了証発行条件**

※学習フェーズⅢの学習期間にて、下記の条件を満たす必要があります。

- 学習フェーズⅢ

- PF完成することで3ヵ月目の課程を修了とする
PFの完成とはデプロイが終了し、PFが動作していることを指す
※デプロイの際は必ずAWSを利用すること

学習のゴール_4ヶ月目(専門技術フェーズ)



教養として大枠を知る

※詳細につきましては、必ずカリキュラムをご一読ください。

データサイエンティスト・AIエンジニアが担う役割

例えば、Amazonのおすすめ機能を
Webアプリに機能実装したければ
ある程度AIの機能を知っておく必要があります。

- ・上の例のように、Webアプリの機能作成において
AIが「どのような仕組みで動いているか」「仕組みを作るために何が必要か」の
知識を知っておく必要があるケースも存在します。
- ・これらの機能自体はデータサイエンティスト、AIエンジニアが作ることが多いですが、
役割を理解すれば、誰に何をお願いすれば実現できるのかを考える指針になります。

AI教養コースのゴール

AIの仕組みを使って出来ることや、それを支える技術や考え方を学ぶ

実践すること

- ・AIの仕組みを使用して動いているAPIの使用方法を知る
- ・AIの仕組みを使用しているAPIを、ポートフォリオに組み込む

学習すること

- ・Pythonを使用した、データ分析用のライブラリの使い方について
- ・AIで使用される概念や考え方
- ・AIの仕組みを使ってデータ分析を行う方法

クラウド教養コースで学べること

Webアプリをサービスとして運営するときに必要な
クラウドサービスの役割を知ることができる

コードを書いてデプロイすることが、開発の終わりではありません。
サービスリリース後、意図しない障害を検知し、
対応する必要があります。

- ・開発したアプリケーションをクラウドを利用し稼働させ、保守運用を行うために必要なポイントを知ることができます。
- ・運用や保守を支える技術としてクラウドサービスがあり、このコースではAWSを使って学びます。

クラウド教養コースのゴール

**AWSのサービスを使用して、
Webアプリを運用するために出来ることを学ぶ。**

実践すること

- ・PFで使用しているAWSのサービスを、標準の設定ではなく自分でネットワーク構成をつくり、稼働させるようにする
- ・PFが動作するEC2がダウンした時、通知を受け取れるようにする

学習すること

- ・AWSのネットワーク設定の理解と必要なネットワーク環境を構築する方法
- ・AWSのサービス利用権限を管理し、役割ごとにできることを制限する方法
- ・AWSのサービスに対するアクセス・設定変更のログを確認する方法
- ・災害時や障害発生時などに、サーバをダウンさせずに運用する構造や方法

2

学習の流れ



学習の流れ

質問時間

- 19:00～22:00(月～木)
- 13:00～22:00(土～日)

金曜日は休校日のため質問不可、最終受付は21:30までとなります。

学習カレンダー

提出物の期限など記載がございます。

1ヶ月目に配布した学習カレンダーを学習前にご確認ください。

カリキュラム

1ヶ月目と同様、

カリキュラムを見ながら学習を進めてください。

課題はカリキュラム右上の課題提出一覧より提出ください。

4ヶ月目カリキュラムの配布について

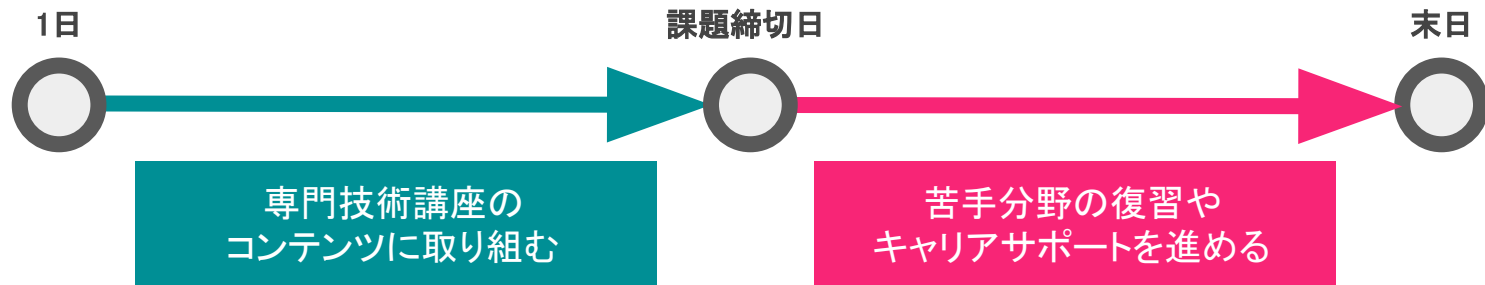


4ヶ月目より、閲覧可能となります。

※進級後、カリキュラムが付与されていない等ございましたら、DWC運営部までご連絡ください。

60時間以上の学習を目指しましょう！

課題締切日以降は、自由学習期間となります。
メンターへの質問は末日まで可能ですので
苦手分野の復習や、今後の学習のためにご活用ください。



※ 打刻は毎日忘れずに行ってください。

3

課題提出



課題はカリキュラムからの提出となります。

機能を実装できたら、以下の流れで合否判定の確認依頼と、課題提出フォームの入力をお願いします。

1. AI機能が導入が完了したらポートフォリオをデプロイし直し、デプロイされた状態でAIの機能が問題なく動作していることを確認します。

2. 「課題提出」 > 「AI教養：ポートフォリオへの機能追加(AI機能)」を選択し、課題を提出します。

※「課題提出」は、右上の受講生名をクリックすると表示されるメニューからアクセスできます。

3. 課題提出が完了したら、ポートフォリオ上でAIの機能が問題なく動作しているか、確認を依頼していただきます。

確認依頼は、通常の質問と同様に、質問入力フォームから連絡いただけます。

その際、タイトルに「AI教養コース ポートフォリオ確認依頼」と記載します。また、提出した課題のURLを質問内容に記載してください。

※対応時間は、通常の質問時間と同様です。(月曜日～木曜日：19:00 - 22:00, 土曜日・日曜日：13:00 - 22:00)

4. 対応時に、API実装内容の画面共有と、実装内容の説明をお願いします。

5. 最後にメンターから問題なく実装できている旨の承認が得られれば合格となります。

提出準備・方法についてはカリキュラム内の案内に沿って確認してください。
ポートフォリオへの機能追加の課題提出後、Zoomにてメンターへ確認いただきます。
提出後、SlackよりZoomの案内がありますのでそちらでご確認ください。

※提出後のレビュー返却や合格通知はございません。

課題提出(AI)_2

課題内容

1. ポートフォリオへのAI機能追加(画像認識、自然言語処理いずれかの実装)
2. 課題について(sample)
3. pythonに慣れる(pandas)
4. pythonに慣れる(numpy)
5. pythonに慣れる(matplotlib)
6. 機械学習実装
7. ニューラルネット実装
8. 自然言語処理実装

課題提出日 ポートフォリオへのAI機能追加は **7営業日目** を提出日としています。

また、各課題の提出最終締切日は **15営業日目** までです。

※別途、修了証発行条件について4ヶ月目開始日より26日目でご案内しておりますが、修了証発行工程で、厳密なチェックの必要があるため、15日営業日目までの提出をお願いしております。15日営業日目の締切日に間に合わない方はDWC運営部までご連絡ください。

課題提出(クラウド)

途中、3章の課題はカリキュラムからの提出となります。

「課題提出」>「クラウド教養：3章【EC2の運用1】演習」から提出をお願いします。

※「課題提出」は、右上の受講生名をクリックすると表示されるメニューからアクセスできます。

※課題提出後のレビューはございません。提出後に通知される資料をご確認ください。

提出準備・方法についてはカリキュラム内の案内に沿って確認してください。

ポートフォリオへの機能追加の課題提出後、Zoomにてメンターへ確認いただきます。

提出後、SlackよりZoomの案内がありますのでそちらでご確認ください。

※提出後のレビュー返却や合格通知はございません

課題提出(クラウド)_2

課題内容

1. 3章【EC2の運用1】課題問題
2. 8章【課題:ポートフォリオへ機能追加】

課題提出日 各課題の提出最終締切日は **15営業日目** までです。

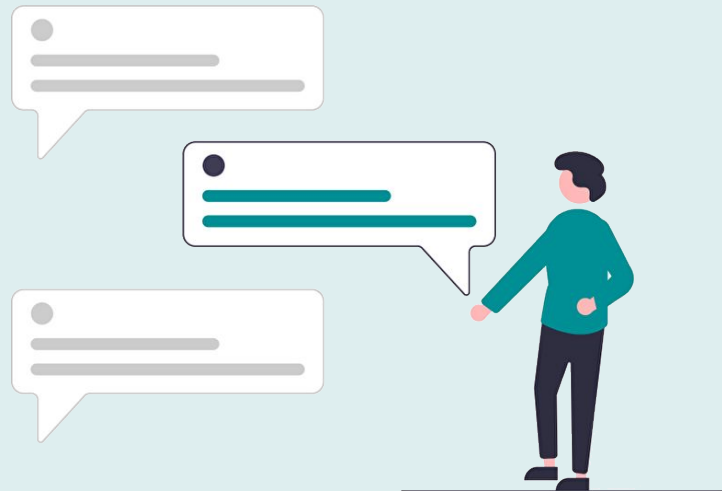
■ポートフォリオの機能追加については提出後にメンターへ要件の確認が必要です。

1. ポートフォリオへ機能追加の課題を提出します。
 2. SlackにてZoom対応の案内がございます。そちらでご確認ください。
- (提出時点の対応状況によりお時間をいただく場合がございます。あらかじめご了承ください)

※別途、修了証発行条件について4ヶ月目開始日より26日目でご案内しておりますが、修了証発行工程で、厳密なチェックの必要があるため、15営業日目までの提出をお願いしております。15営業日目の締切日に間に合わない方はDWC運営部までご連絡ください。

4

スキル評価

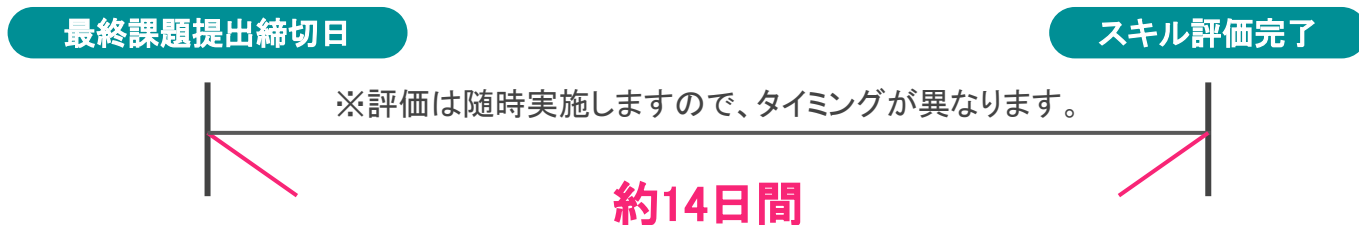


スキル評価

下記を満たしている方を対象に、3ヶ月目にご提出いただいたPFのURLを元にレビューとフィードバックをいたします。

- 最終提出期限までに、PF機能追加の課題が提出されている
- PFをデプロイしているAWSのインスタンスが稼動状態である

<評価スケジュール>



追加機能実装について

学習カレンダーに記載のある

【8月生】[専門技術_全コース]最終課題提出期限までに

実装された機能内容でポートフォリオのスキル評価を行います。

企業様はスキル評価等を参考に皆様のスキルを把握します。

ご自身の技術力をアピールするためにも最終課題提出期限まで

追加実装やコードの見直しを行い

ポートフォリオのクオリティを高めていきましょう！

スキル評価_注意事項

PFの公開について



15営業日以降、レビュー返却までは
PFがネット上に公開されている状態を維持してください。

URLの変更について



4ヶ月目の学習期間中にPFのURLに変更(ドメイン取得等)が
あった場合、運営部にご連絡の上
カリキュラムより再提出をお願いいたします。

5

修了証明書



▶【重要】修了証発行条件

※学習フェーズⅣの学習期間にて、下記の条件を満たす必要があります。

● 学習フェーズⅣ

- ・課題合格することで4ヵ月目の開校日をすべて出席とする。
- ・課題合格とは、カリキュラム内にある提出物及び、
4ヵ月目の26日目までに指定の専門技術が実装されている
ポートフォリオが提出されていることとする。
- ・ポートフォリオの提出と機能追加だけでは
修了条件は満たされず、実装されていることとする。

修了証明書_発行

以下の条件を満たした方へ修了証明書を郵送いたします。

- 学習課題の提出、ポートフォリオへの機能追加
- 4ヶ月目の学習期間の修了

条件を満たした後、翌月の1日～約1週間を目処に

登録の住所へ修了証明書・受講料金の領収書を送付いたします。

修了証を受領されましたら、ご自身でハローワークにて手続きをお願いします。

6

学習進捗管理シート



【専門技術フェーズ用】学習進捗管理シートについて

月末の「ポートフォリオ発表会」にて配布いたします。
使用は必須です。
使用の際はご自身用に雛形をコピーしてご利用ください。



7

デイリースクラム



デイリースクラム

デイリースクラムの実施は**必須**です。
座席は、**PF発表会の座席**を流用いたします。

11/1

毎日12:30～12:45

(休校日を除く)

最終課題提出期限

PF発表会のメンバー

4ヶ月目25日まではバーチャル教室をご使用いただけます！

自主学習のためご活用ください！

DMM \X WEBCAMP